

TOKYO FMのリスナー参加型アンケート企画「モバイル・ジャッジ」 星野ジャパンはなぜメダルに手が届かなかった？

閉幕した北京オリンピック。星野仙一監督率いる野球・日本代表は3位決定戦でアメリカに敗れ、メダルを逃しました。TOKYO FMではこの結果について、25日・朝から夕方の番組を横断してリスナー参加型のアンケートを実施いたしました。

今回問いかけた質問は、

北京五輪・星野ジャパンはなぜメダルに手が届かなかったと思いますか？

【集計結果】

- | | |
|--------------------|-----|
| ①星野監督の采配ミス | 48% |
| ②選手の力不足 | 40% |
| ③日本野球とのルールやシステムの違い | 10% |

【主な意見】

<①星野監督の采配ミス>

- ・ 星野さんの人選ミス、怪我人を選抜したこと、それと野球をキレイにやりすぎた。WBCの頃やアジア予選の時はまだ汚さというか、勝負への執着心が感じられた。松中や小笠原や金城など、やはり経験ある人がいたほうがよかったと思う。(33歳男性)
- ・ 選手をコントロールするのは監督です。選手交代など上手く出来なかったのでは。(29歳男性)
- ・ 他の競技を見てみても監督次第で全然違うと思ったので指導力は重要だと思います。(29歳女性)
- ・ 星野監督の好き嫌いで選手起用していた。冷静にチームの分析ができていない。監督が情や期待で短期決戦に望んでる。どうしても勝ちたいならダルビッシュ4連投など何がなんでも勝ちに行くべき。打者もリーグで調子の良い人間だけを選ぶべき。(33歳男性)
- ・ 24人が本当に必要な人間ではなかった。短期決戦に精神的支柱がいるのだろうか。プロなんだから自分達の力を100%出すことはできるはず。(30歳男性)
- ・ 明らかな采配ミス。選手の出来具合をみずに思いだけで起用した。誰が見ても先発、抑えの切り替えに不手際があった。ストライクゾーンがどうのこうのいつているが、皆コンディションは同じ。選手の力量は同一ないし少しは上をいつていたはず。あとは監督責任しかない。(34歳男性)

<②選手の力不足>

- ・ これが今の日本野球の力！と現実を受け止めるべき。監督采配、人選にも問題はあんだけど、それだけの選手がいなかった裏返しです。(33歳男性)
- ・ メンタルも大きな実力のうち。絶対に勝とうという気迫が伝ってこなかった。(31歳女性)
- ・ 日本がシーズン中であつたことから、日本人の主砲が出場しませんでした。各球団が出せなかつたので小粒なチームになった。韓国チームはオリンピック期間中、シーズンを中断までしました。そこまで金メダルにこだわつたということだと思います。プロ選手で行くというのであれば、全球団がシーズンを中断するなりしてバックアップしないと。(35歳男性)

- ・ 国際ルールの違いを言っていました、それはどの国も同じ条件で戦っているの言い訳にはなりません。確かに負けた理由としては大きな要因かもしれません。国際ルールがおかしいような報道がされていましたが、それはルールが悪いのではなく、そのルールに対応できなかった日本の野球のレベルが低いのだと思います。(33 歳男性)
- ・ 力不足と言うより、闘争心や勝利への執念が足りない気がした。(29 歳女性)

<③日本野球とルールやシステムの違い>

- ・ 日本野球と国際基準のボールの違いが最大の原因ではないでしょうか。(43 歳男性)
- ・ 開催直前のルール変更等疑問に思うこともある...世界大会で使用するボールやストライクゾーンを含めたルールがあまりにも日本球界とは違いすぎると思います。国内リーグ戦を世界大会に合わせて(ボールなど)進めていた韓国に負けても当然だと思います。前回の WBC でも同じような内容が問題になったと思います。世界大会で勝つためには国内リーグを世界基準にしないとと思います。(34 歳男性)

TOKYO FMの「MOBILE JUDGE」サイト（以下ページを下方にスクロール）

<http://www.tfm.co.jp/news/>

※ 本アンケート結果は、ご自由に引用ください。その場合は「TOKYO FM リスナー調査」のクレジット入りをお願いいたします。